

科目名 (科目番号)	介護概論 (時間割参照)	教員名 松浦 信二	学科等	理学療法	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	短大L107研究室	
授業概要	人口減少・少子高齢社会が急速に進行している日本において、介護を取り巻く状況も大きく変化してきている。少子高齢社会の現状を理解し、地域包括ケアシステムについて理解する。介護職員に求められる職業倫理を学び、介護の目的、介護の原則、介護職員の役割について理解する。介護と保健・医療との連携における多職種の連携の必要性を学び、チームアプローチの重要性について理解する。生活支援技術の基本及び認知症高齢者について理解する。						
目的・目標	目的:介護の基本的な考え方を学び、介護の目的・介護の原則、介護と保健・医療の連携、高齢者の理解と援助関係の基本、介護保険制度の概要及び認知症高齢者について理解する。目標:理学療法士として、少子高齢社会の現状を確認し、介護職員の職業倫理、チームアプローチの重要性、援助関係の基本、生活支援技術の基本及び認知症高齢者について理解できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	介護の目的・介護の原則、職業倫理	到達目標:介護の原則と職業倫理、介護職員の役割について理解する。 学習内容:介護の目的、介護職の職業倫理と介護職員の役割について学習する。				
	2	介護を必要とする人々と地域共生社会	到達目標:少子高齢社会の現状について学習し、介護を取り巻く状況について理解する。 学習内容:介護を取り巻く状況や地域包括ケアシステムについて学習する。				
	3	介護と保健・医療との関係	到達目標:多職種連携の必要性・連携のためのチームワークについて理解する。 学習内容:介護と保健・医療との連携の必要性について学習する。				
	4	介護を必要とする人の理解と支援関係の基本	到達目標:高齢者・障害者のニーズを把握し、援助関係について理解する。 学習内容:事例を通して、介護における援助関係づくりの考え方を学習する。				
	5	コミュニケーション技術	到達目標:援助関係を形成するコミュニケーション技術について理解する。 学習内容:信頼関係を形成するコミュニケーション技術について学習する。				
	6	介護過程	到達目標:介護過程の展開、介護過程の必要性についてを理解する。 学習内容:介護過程について学び、介護過程を展開する技術について学習する。				
	7	生活支援技術の基本Ⅰ	到達目標:生活支援技術の意義と目的、健康的な生活環境づくりについて理解する。 学習内容:生活支援技術の意義と目的、健康的な生活習慣づくりについて学習する。				
	8	認知機能の低下した人の理解と支援	到達目標:認知機能低下の原因疾患、認知症高齢者について理解する。 学習内容:認知機能低下の原因疾患、認知症高齢者について学習する。				
成績評価の方法・基準	課題レポートの成績(100%)により評価する						
教科書	介護概論(社会福祉学習双書2022)		社会福祉学習双書編集委員会		全国社会福祉協議会		
参考図書	介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」		介護福祉士養成講座委員会		中央法規出版株式会社		
教員からのメッセージ	授業の進度、その他必要に応じてこの授業内容を変更することがあります。介護老人福祉施設で勤務した社会福祉士がこの授業を担当します。						